

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」

教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○読み解く力の育成 ～持続可能な社会の創り手を育てるために～

○指導と評価の一体化

【現状と課題】

○学習指導要領の全面实施を受けて、学習評価の方法と工夫に重点をおいて授業改善に取り組んでいる。

○生徒一人ひとりが学習内容を深く理解できるように、学習の基盤となる資質・能力(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)をさらに育成する必要がある。

○生徒の主体的な学びをさらに推進していくために、振り返りの充実を図る必要がある。

取組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
【取組事項】 ○授業におけるICT機器の活用の推進 ○めあて設定の時間・振り返りの時間を充実させ、生徒自身が自らの学びをマネジメントできるようにする。	【取組事項】 ○学習規律「学びのきまり」を年度初めに生徒自身に考えさせ、生徒全員が共通理解し意識しながら授業に参加できるようにする。 ○「根拠を明らかにし筋道を立てて話し合う力」「自分なりのことばで表現する力」を育むため、「コ」の字型、4人班、板書型協働学習等を効果的に設定する。	【取組事項】 ○学ぶ力向上推進部を中心として、全教科において教科マネジメントに取り組む。 ○家庭・地域・学校が相互に連携・協働できる「チームとしての学校づくり」を推進する。
その他 取組事項		

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		本校学ぶ力向上アンケート・学校評価アンケート(教師)内、学ぶ力向上策に関する項目の肯定率	B	
視点1	○授業におけるICT機器の活用の推進。	授業実践の分析と授業改善の成果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	
	○めあて・ふりかえりの時間を充実させ、生徒による学びのマネジメント。	生徒の「ふりかえりシート」、全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	
視点2	○学習規律「学びのきまり」を意識しながら授業に参加できるようにする。	教員の「授業記録」、「参観記録」全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	
	○「根拠を明らかにして論理的に話す力」「自分のことばで表現する力」を育む協働学習等を設定する。	生徒アンケート結果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	
視点3	○各教科において教科マネジメントに取り組む。	単元構想シートによる授業実践と研究会、全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	
	○家庭・地域・学校が相互に連携・協働できる「チームとしての学校づくり」を推進する。	コミュニティ・スクールでの意見・要望、保護者アンケート結果、全教職員による毎月の評価シート(10段階)	B	

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

全国学力学習状況調査の分析結果より、国語科においては「読む・書く」、数学においては「数学的な見方・考え方」に課題があることが分かった。また、記述式の問題においては無回答も多かった。これらの課題を克服していくために本校では、記述を意識した振り返りの時間を十分に設定することを推進する。また、その成果指標として、全職員による毎月の評価シートの「項目7」における80%以上の達成率を目標とする。